

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372101481
事業所名	グループホーム岡崎若松の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 総代(自治会長)からは「事業所に設置のソーラーパネルは、非常時にどの程度役立つのか」の確認とともに「地域の一時避難所として受入れは可能か」の問い合わせもあって、有事の協力関係に至る話し合いを持っています。またパン好きな利用者の要望に応える形で地域のパン屋さんに皆で定期で通うことが継続され、地域資源の活用のほか利用者が「(パンを)選択できる」「支払いができる」といった社会との関わりにも効用を拡げています。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 新管理者に交替してから運営推進会議は家族、利用者ともに参加するようになっており(概ね家族は4名、利用者は2名程)、これまでの出席メンバーからも「いいことだね」と評価の言葉が聞かれています。また会議の場を通じて、管理者から「在宅介護のお悩み相談も随時受けています」「いつでも相談にのりますよ」と態勢及び方針を表明できています。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 新管理者は就任前にいち早く行政担当窓口に出向き挨拶をおこなっていて、現在では電話でのやりとりも重ねて関係構築を進めています。また岡崎市介護保険課から派遣されている介護相談員2名は毎回の運営推進会議のみならず、「近くを通ったから」と常日頃から立ち寄ってくださり、都度貴重な助言が得られています。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議で報告される利用者の日頃の様子(写真付き)の中に生活リハビリ(食器拭き等)があったことから、家族が「これまでは自宅に戻っても(一時帰宅)何もしなかったのが、洗い物をしたり、時には掃除もしてくれて、あんな風に変ったのは事業所でこういったことをさせてくれるおかげなんだ、とわかった」と、事業所の取組みが評価された例をはじめ、家族は概ね意見や要望を事業所に届けてくださっています。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	○	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎